

剣淵町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

剣淵町では、市街地温泉連絡バスを運行しており、利用しやすく安定的な運行維持を図るため、通年での運行や、主な利用者である高齢者に対しては70歳以上の住民に対しては無償とし、利用しやすい運賃設定にて運行している。このことに加え、利用者の意見、要望をこまめに聞き取ることで、誰にでも利用しやすい環境を整え、利用人数の増加に努めることとする。

この事業は、主要幹線交通への接続も目的としており、これからもJR宗谷本線及び道北バス名寄線と地域内フィーダー系統とが一体となった運行体系を継続していく。また、市街地温泉連絡バスに加え、一般混乗を行っているスクールバスの運行を継続していくことで、引き続き利用者に対し、剣淵町の公共交通体系を推進していく。

生活交通確保維持改善計画の目標

計画目標

・市街地温泉連絡バス 目標値 4,000人

令和4年度事業概要

市街地温泉連絡バス運行事業

- ・剣淵駅～剣淵温泉レークサイド桜岡間
- ・運行回数1,666回
- ・運賃: 1回50円(ただし、70歳以上の町民については無料)

地域公共交通の現況

- ・乗合タクシーの運行
- ・市街地温泉連絡バスの運行
- ・JR宗谷本線(剣淵駅)
- ・道北バス(株)(名寄線)
- ・(株)士別ハイヤー

協議会開催状況

令和4年6月15日(月)第1回協議会を书面開催

主な協議事項

- ・剣淵町地域内フィーダー系統確保維持計画について

令和5年1月10日(火)第2回協議会を书面開催

主な協議事項

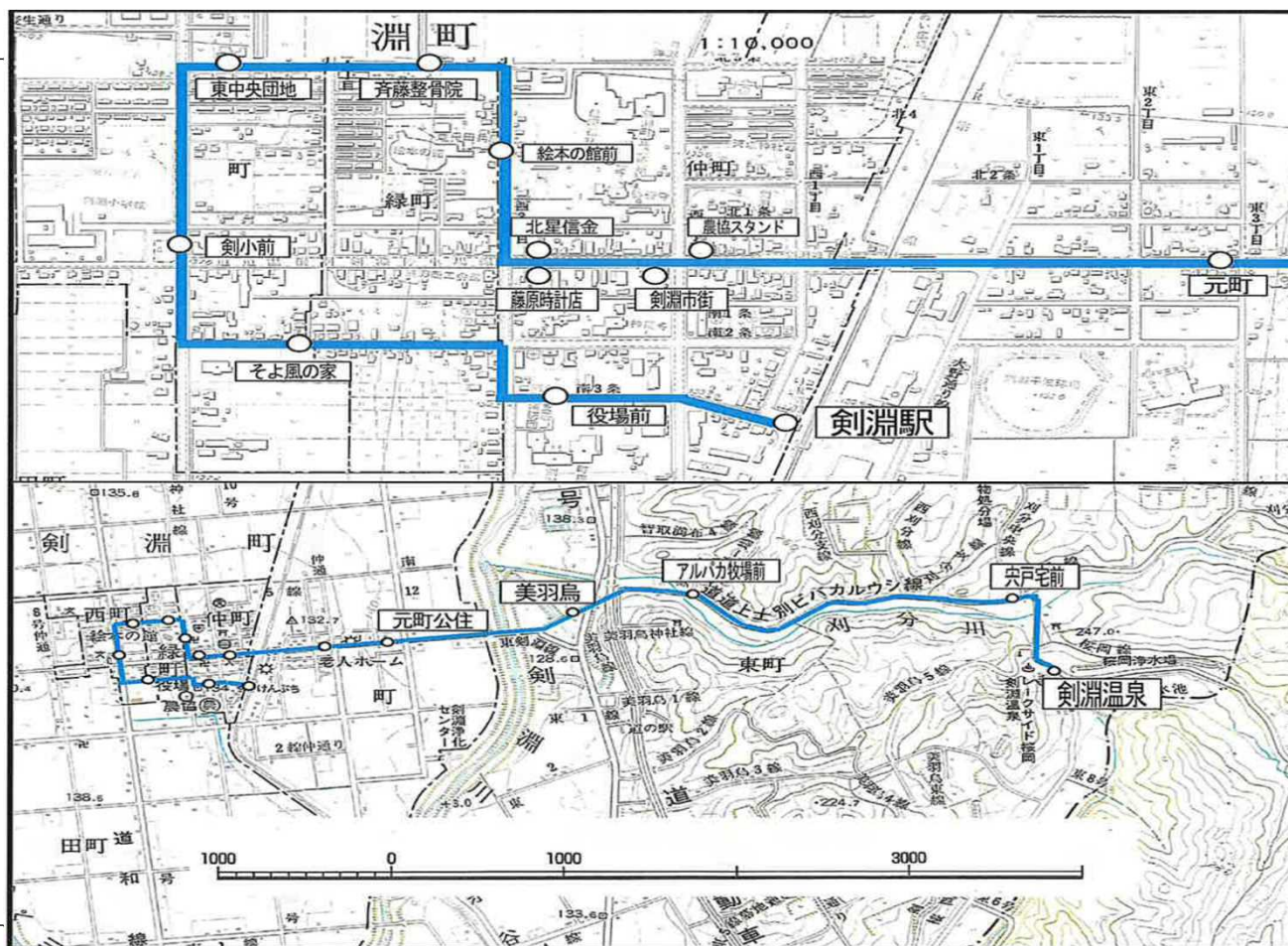
- ・令和4年度事業評価について

令和4年度事業の実施状況

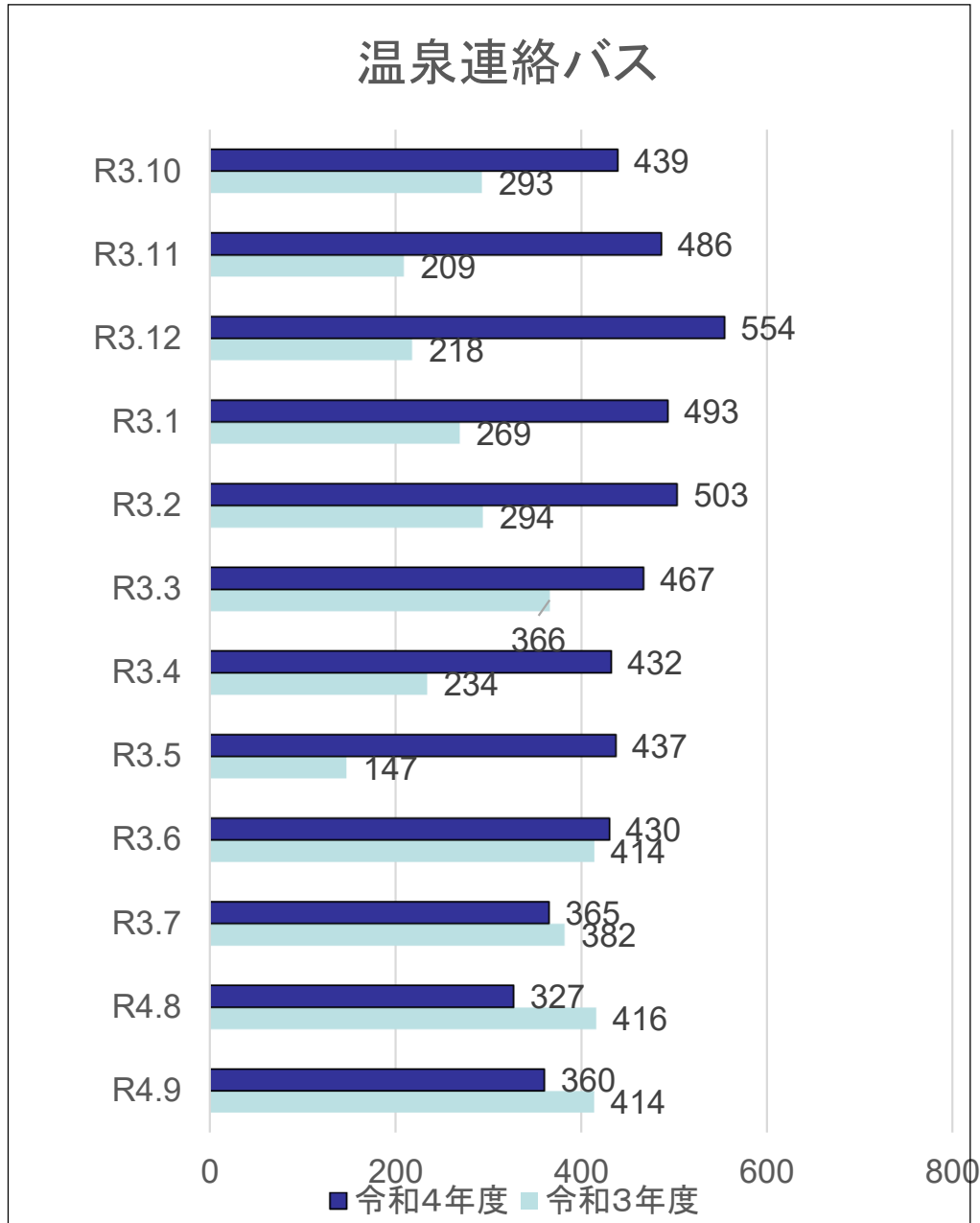
1) プロセス、創意工夫

- ・交通空白地、交通弱者の利便性を考慮し、市街地温泉連絡バスの運行する。
- ・主な利用者である高齢70歳以上の町民が利用の場合、運賃を無償とする。
- ・一般混乗を行っているスクールバス及び、JR宗谷本線から接続する。

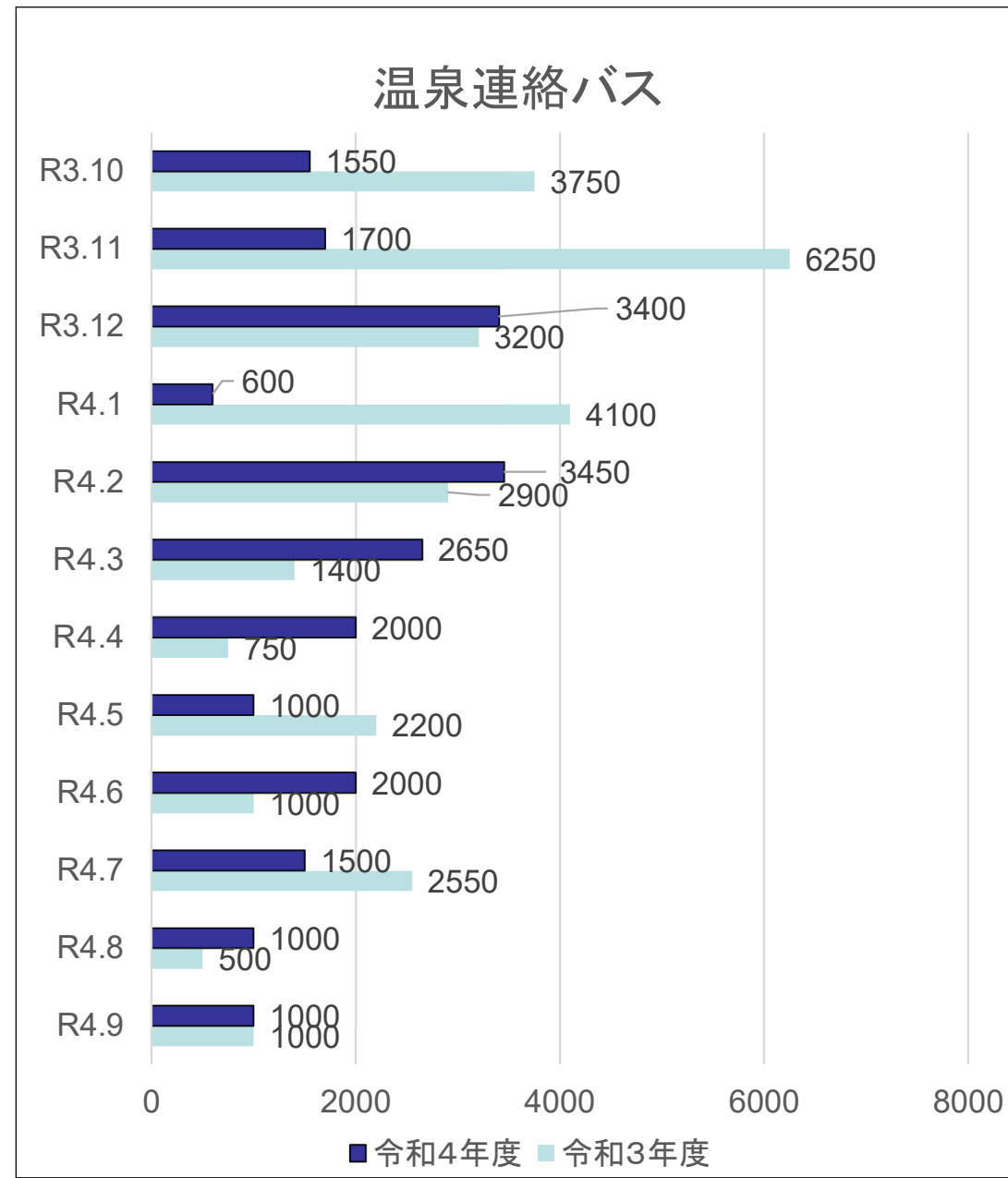
2) 運行系統



3) 利用実績 (人)



4) 収入実績 (円)



5) 事業実施の適切性

(市街地温泉連絡バス運行事業)
計画に位置付けられたとおりに実施した。

6) 目標・効果達成状況

(市街地温泉連絡バス運行事業)
利用目標4,000人に対し、利用者は5,293人であった。
回復傾向は見られるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。

7) 事業の今後の改善点

(市街地温泉連絡バス運行事業)
引き続き新型コロナウイルス感染症に留意しつつ、利用者へ安心安全な運転とともに、利用者及びこれから利用しようとする方のニーズの把握、利便性の向上に努める。
また、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者の回復傾向がみられるが、今後も厳しい経営状況が続くことから、費用負担の面での対策や運行のあり方など検討する。

8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和5年度分と併せて評価)